

株式会社浜松新電力の 取り組みについて

2016年7月16日

株式会社浜松新電力
平形 直人

1. 事業目的
2. 設立経緯
3. 会社概要
4. 電源調達
5. 事業規模およびお客さま
6. スマートシティ実現に向けて

日照時間が全国トップクラスの浜松市において、太陽光発電を利用した地域新電力事業を核とした「スマートシティ・浜松」の実現を目指す。



スマートシティ・浜松

エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会

浜松市の政策目標 (2011→2030年度)

- 電力自給率 : 4.3 → 20.3%
- 再エネ導入量: 15.5 → 79.5万MWh
- 電力使用量 : 10%削減

浜松新電力事業の目的

- ①再生可能エネルギーの活用
- ②電力の地産地消
- ③市内資源の有効活用
- ④地域経済の活性化
- ⑤市民への節電・環境意識の醸成
- ⑥エネルギーに不安のない強靱で低炭素な社会の構築

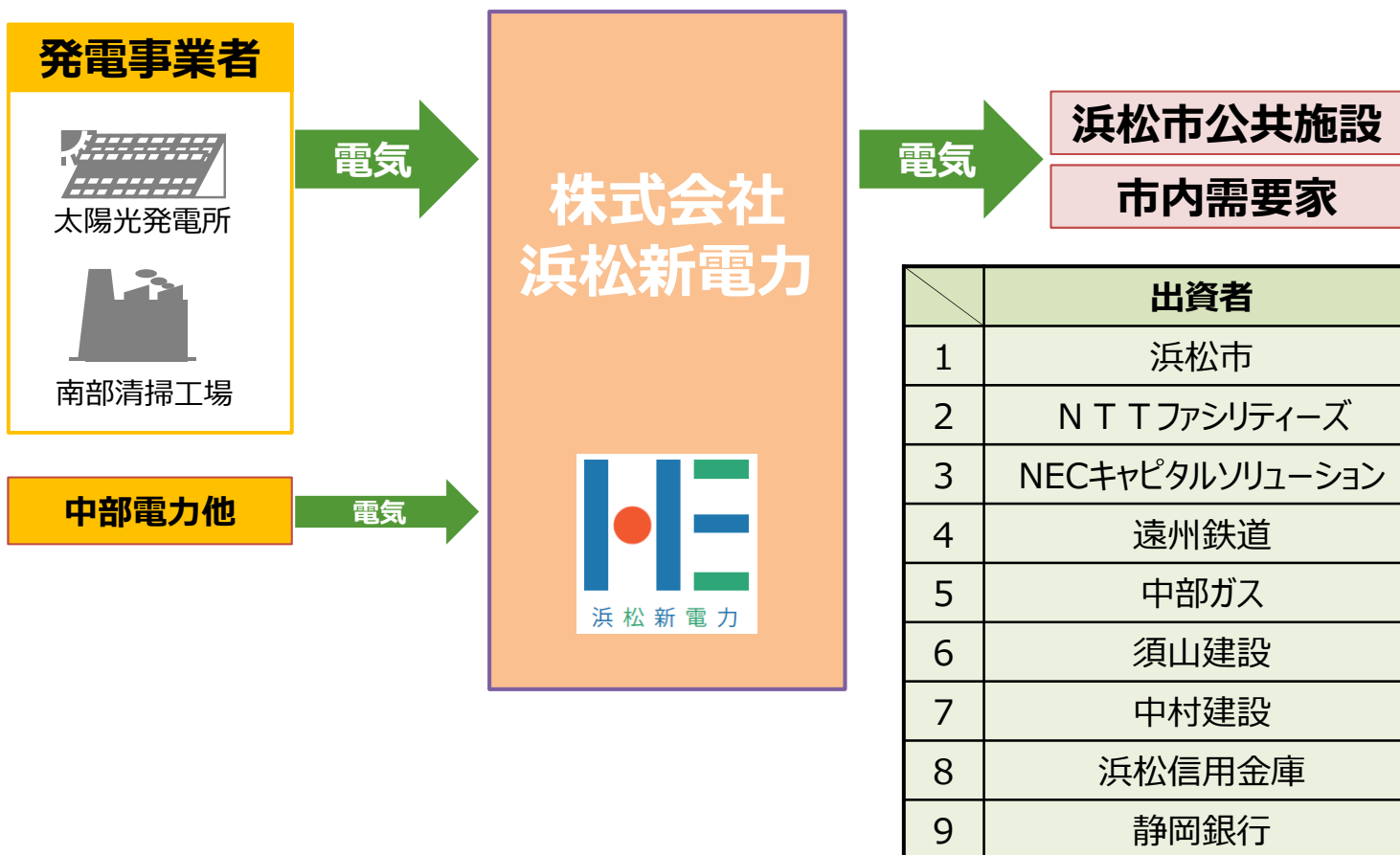
浜松市エネルギービジョン (https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/documents/energy_vision_gaiyou.pdf) 等を参考に作成

- 2014年 3月：事業検討開始
- 2015年10月：会社設立
- 2015年11月：浜松市とエネルギー政策に関する連携協定を締結
- 2016年 4月：電力供給開始



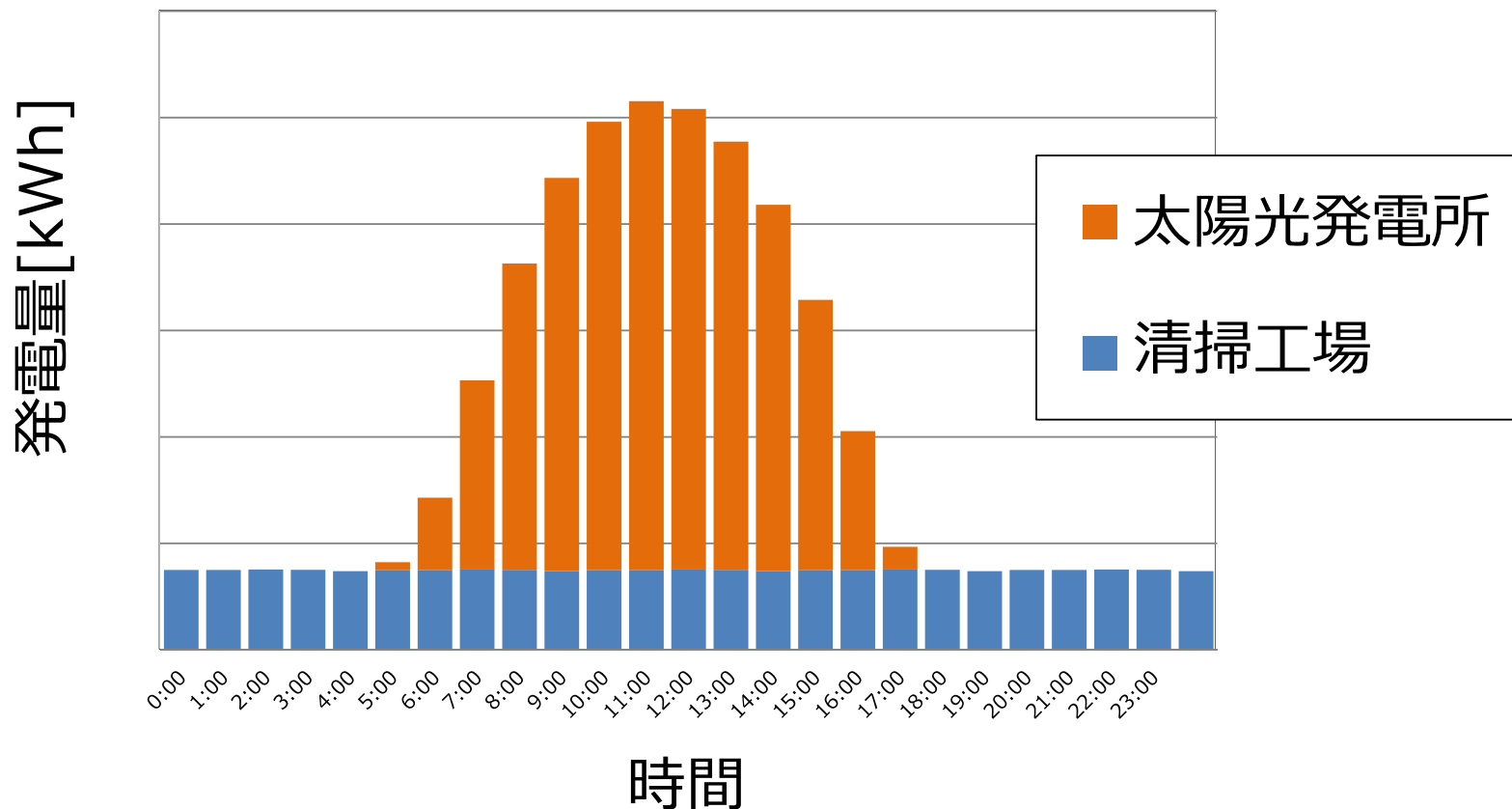
**記者発表
(2015年11月6日)**

- 浜松市をはじめ地元企業等とともに会社を設立
- 浜松市内太陽光発電所や清掃工場の電源から電気を調達し、浜松市内の公共施設や民間需要家へ供給（小売電気事業）



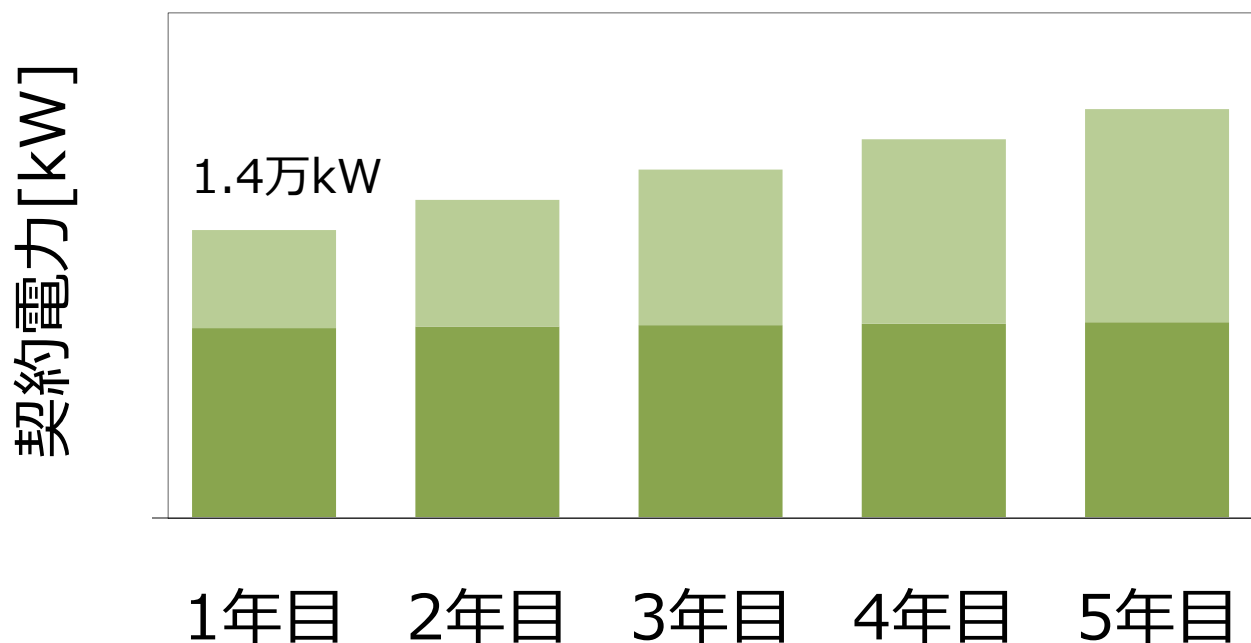
- ・浜松市内の発電所から電気（12,000kW）を調達
- ・太陽光発電所：10,500kW 清掃工場：1,500kW

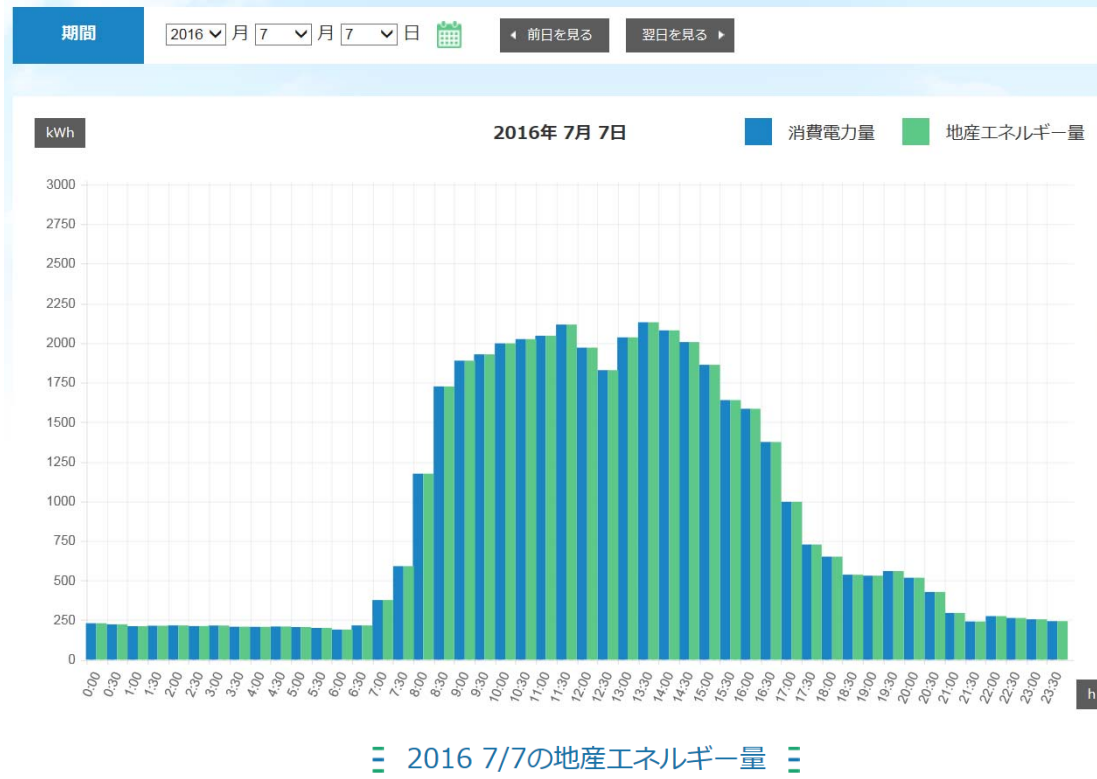
1日の発電量の例（晴天時）



- 事業開始時の事業規模は約0.6万kW、今夏に約1.4万kWへ拡大。高圧受電のお客さまが主な対象
- 公共施設だけでなく、民間のお客さまへの供給を拡大
- 将来的には、低圧受電のお客さま（一般家庭）への拡大も想定

事業規模の予測





消費電力量

💡 43,841 kWh

地産エネルギー量

💡 43,841 kWh

地産地消レベル

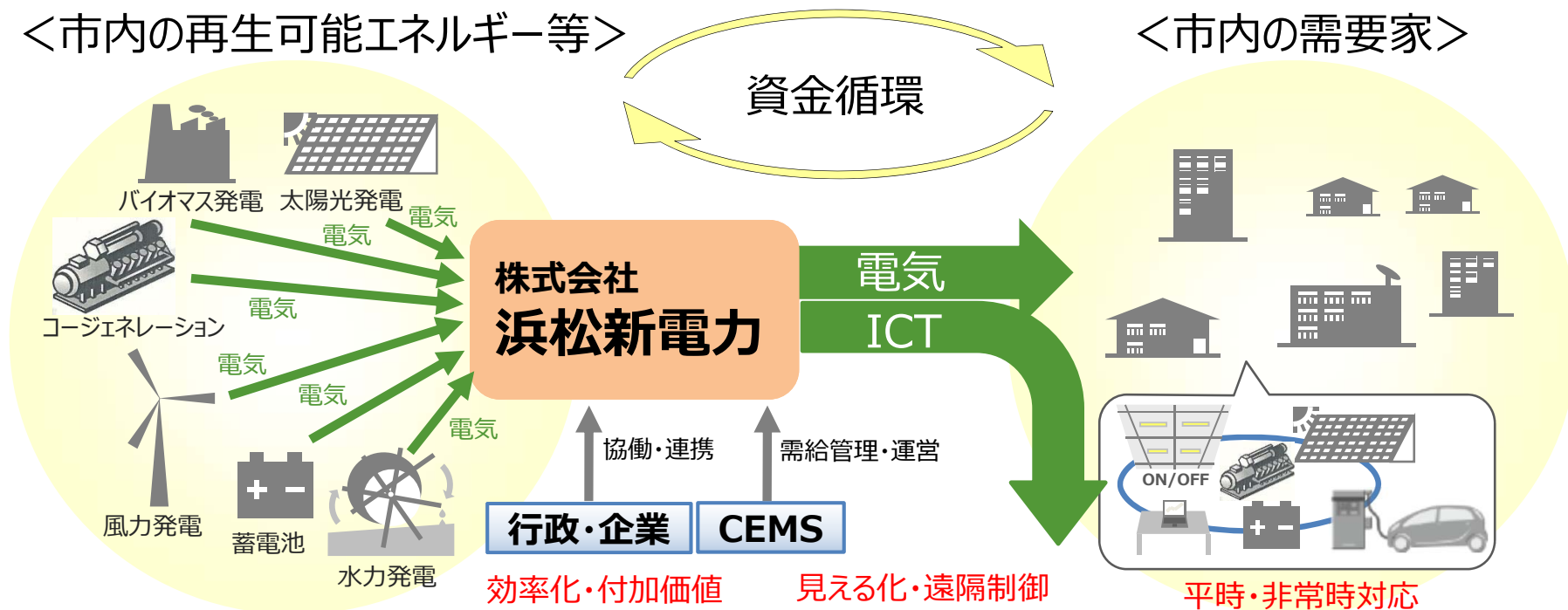
最高の地産地消レベル



- ① 浜松新電力による、再生可能エネルギーを活用した電力の地産地消
- ② 強靱で低炭素な社会の構築
- ③ 市内資源の有効活用（再エネ比率向上）
- ④ 資金を市内で循環し市内経済を活性化
- ⑤ 市民への節電・環境意識の醸成

<市内の再生可能エネルギー等>

<市内の需要家>



ご清聴有難うございました。

